平成２１年1月３０日

各　位

会 社 名：株 式 会 社　京 写
代表者名：代表取締役社長　児嶋雄二
（ＪＡＳＤＡＱコード番号:６８３７）
問合せ先：取締役経営企画・管理統轄 桃井　茂
電話番号：０７５－６３１－３２９２

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月30日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

Ⅰ．平成21年３月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年４月１日～平成21年３月31日)

(単位：百万円)

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想　（A）	百万円 16,500	百万円 500	百万円 770	百万円 480	円 銭 32.83
今回発表予想　（B）	15,300	120	420	230	16.03
増　減　額　（B－A）	△1,200	△380	△350	△250	—
増　減　率　（%）	△7.3	△76.0	△45.5	△52.1	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	17,304	746	891	459	31.45

Ⅱ．平成21年３月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年４月１日～平成21年３月31日)

(単位：百万円)

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想　（A）	百万円 6,000	百万円 10	百万円 370	百万円 280	円 銭 19.15
今回発表予想　（B）	5,500	△240	100	70	4.88
増　減　額　（B－A）	△500	△250	△270	△210	—
増　減　率　（%）	△8.3	—	△73.0	△75.0	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	6,922	151	433	237	16.25

Ⅲ．修正の理由

米国発の金融危機に端を発する世界的な景気後退の影響により、当社関連の業界におきましても今後さらに厳しい状況が続くものと予想されます。この様な環境におきまして、当社の売上高は、特に本年２月以降日本、インドネシアにおいてデジタル家電分野や自動車関連分野向け製品を中心に一段の受注の落ち込みが予想されるため、本日、前回予想を下方修正いたします。

営業利益、経常利益におきましてもコストダウンや経費削減等の対応を鋭意進めておりますが、売上高減少に伴う利益の減少を補うには至らず、前回発表の予想を下回る見込みであります。なお、当期純利益におきまして

は、上記の要因に加え、グループ経営効率の改善を目的に連結子会社（１社）の清算を行う予定であり、このため清算に伴う見積もり費用を当第３四半期の特別損失に計上しております（本日リリースの連結子会社の解散及び清算に関するお知らせをご参照ください）。

なお、個別業績予想におきましても、連結業績予想と同様の理由で前回の予想値を下回る見込みであります。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。

以上